

# 外国語科（英語）「コミュニケーション英語Ⅱ」 学習指導案

日 時：令和元年10月30日（水）6校時

対 象：普通科2年B組（13名）

教科書：Power On English Communication I

授業者：教諭 高橋 恵

場 所：2年B組教室

## 1 単元名 Lesson 10 Carving for the Future

### 2 単元の目標

- ①海外で活躍する日本人彫刻家の成功への軌跡を読み取り、自分の将来のキャリアを考える機会をもつことができる。
- ②世界遺産に対する関心を高め、京都の世界遺産について英語で紹介することができる。

### 3 単元とCAN-DO形式での学習到達度目標との関連

- ・順序立てて、日本文化について口頭で説明することができる。【2年前期 話すこと】
- ・事物に関する紹介など聞いたり読んだりしたことに基づいて、自分の意見や感想を30～40語程度でまとまりのある文章で書くことができる。【2年後期 書くこと】

### 4 単元観

グローバルに活躍し、成功を収めた日本人のロール・モデルとして、「サグラダ・ファミリア」の主任彫刻家外尾氏の経歴や情熱を理解させることで、自分の将来のキャリアを考えるきっかけにしたい。また、世界遺産の素晴らしさを意識させ、日本の世界遺産にも目を向けさせたい題材である。

### 5 生徒観

男子7名、女子6名の計13名のクラスである。中学校までの英語の基礎的な内容が定着している生徒が少なく、演習などには時間を要するが、素直な生徒が多く、手順を丁寧に示すことで積極的な取り組みが見られる。特に「話す」「読む」などの活動に意欲的な生徒が多いため、ポイントを押さえた指導により、自信に繋がる授業を展開するよう心がけている。

### 6 単元の指導計画（17時間）

#### （1）指導計画

- ①単元の導入：2時間 ②presentation：4時間【本時4/4時間目】③Part1：3時間
- ④Part2：3時間 ⑤Part3：3時間 ⑥文法・まとめ：2時間

#### （2）評価規準

	A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
観 点	ペアやグループ活動において積極的に取り組むことができる。	既習の表現を用いて、自分の将来について英語で表現できる。	まとまりのある英文を読み、内容を的確にとらえることができる。	世界遺産について特徴を理解できる。

7 本時の計画

(1) 本時の目標：京都の世界遺産について、その魅力を効果的に英語で発表できる。

(2) ルーブリック

到達度 観点	A	B	C	評価の方法
思考・判断・ 表現	内容を精選し、ジェスチャーを交えて顔を上げて発表できる。	まとまりのある内容で、時々顔を上げて発表できる。	原稿を見ながら発表できる。	発表の観察
主体性・協働性	互いに意見を交換し合い、集団として効果的な発表ができる。	個人として効果的な発表ができる。	集団の中で協力できず、発表も効果的にできない。	発表の観察

(3) 指導計画

過程	学習活動	指導上の留意点 JTE	評価
導入 5	1. あいさつをする。 2. Warm-up	・目標と授業展開の明確化を図る。	
展開 ① 20	3. 本時の目標と過程を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>京都の世界遺産について、その魅力を英語でアピールしよう。  <b>Make an attracted speech about the World Heritage Sight in Kyoto!</b></p> </div> 4. グループに分かれて、発表原稿を作成する。 ALTは各グループに発表に盛り込むべき内容を指示する。 ①各グループから一人、ALTのもとへ行き、盛り込むべき内容を聞きに行く。 ②①を4回繰り返す。 ③ALTの指示以外の文を工夫して追加し、原稿を完成する。	・ALTの指示した内容が、的確にグループ内に伝えられているか、確認する。	
展開 ② 20	5. 効果的なスピーチがどんなものか、列挙する。 6. グループ毎に、発表のための練習をする。 ①原稿を見ながら ②時々顔を上げながら ③原稿を見ないで ④ジェスチャーを交えながら原稿を見ないで 7. グループ毎に発表する。 8. スピーチを全て聞き終わったら、魅力的な発表がどれであったか、理由を添えて考え、シートに記入する。 9. 訪れたいと思ったグループに投票する。	・分かりやすいように具体例を挙げる。 ・個に応じて、read and look up やジェスチャーを用いるよう助言する。  ・聞くことに集中できるよう指示する。	
まとめ 5	10. 本時の振り返りシートを記入する。		